

オンライン対話の事業構築の実際

—オンライン・エドカフェをはじめるまでの経緯—

茨城県教育研修センター教科教育課長 櫻井 良種

The Practice of Building an Online Dialogue Project

How the Online EdCafé Came about

SAKURAI Yoshitane

【要旨】

茨城県教育研修センターでは、2020年5月からオンライン・エドカフェというオンライン対話を大阪市立大空小学校初代校長木村泰子先生と行い、YouTubeにおいて配信している。これは、コロナ禍にあって、教職員の皆さんに元気届けたいとの思いで始めたものである。このオンライン対話がどのようにして始まったかをまとめることで、事業のつくりかたの一助になればと考える。

キーワード：対話、木村泰子、大阪市立大空小学校、YouTube、エドカフェ

1 はじめに

コロナ禍にあって、先生方に元気を届けたい、対話の力を感じてもらいたい、教育に関するテーマから学んでもらいたいという3つの目的のために始めたOnline EdCaféもおかげさまで、今年度、12回開催することができました。そして、2月11日現在シリーズで2万4千回を超える視聴をいただいております。参加しているメンバーも視聴されている方から声をかけていただけると、ちょっとくすぐったい気持ちとともにEdCaféをやってこられてよかったといううれしさでいっぱいだと思います。

毎回、泰子さんと教育に関するテーマについて対話を重ねております。後半は3度ほど、一徳さんにもご一緒していただき、温かく楽しい時間を過ごしております。(Caféでは、木村泰子先生、苫野一徳先生を、泰子さん、一徳さんと呼ばせていただいております。)一番幸せなのは、直接対話させていただいている私たちだと思っています。この対話が多くの方の心に届くようにしたいと思い、配信を続けております。

さて、このEdCaféですが、1年前には考えてなかった企画です。どういう出会いがあってEdCaféをスタートすることができたのか経緯を書かせていただきます。オンラインでの学びの場に出会うところから泰子さんとオンラインで対話の場をもつことを決めるまでです。EdCaféもそうですが、ライブ感がとても大切だと思っています。そこで、泰子さんとマスター（著者）のやり取りについては、泰子さんの承諾を得て、実際に交わしたメールのやり取りを載せさせていただきました。

2 Zoomを使った学びの場との出会い

初めてZoomを使ったオンラインの学びの場に参加したのは、2019年12月26日(木)のことでした。Facebookでたまたま見かけた「みんなのオンライン職員室」のイベントでした。丁度そのころ、苫野一徳先生がオンラインサロン「苫野一徳オンラインゼミ」をスタートさせていましたが、まだオンラインの学びの場は少なく、身の回りでは珍しいものでした。たった1年前なのに変化が激しいですね。

主催：みんなのオンライン職員室

日時：2019年12月26日 21時から22時

講師：苫野一徳先生

タイトル「これからの教育を構想し“実装”する」

このイベントは、オンラインでの学びの場であることと、講師が苫野一徳先生であることから、とてもワクワクするものを感じ、無料（会員の学びの場の無料枠での募集）だったこともあり参加しました。参加してみると、これがまたとても充実していて、私は友人に「みんなのオンライン職員室」に参加した感想を次のようにメールしています。

(感想)

学び方も内容もよかった。

苫野一徳先生って、すごいね。

印象に残った言葉は、次のようなもの。

- ・子どもが「学校づくりのオーナーシップ」という感覚をもてるように。
- ・教師が探究者である姿勢を見せないと探究活動はうまく行かない。
- ・自分が興味を持って取り組んでいることを具体的に子供に話す先生であれ。
- ・用意されたカリキュラムを行う学びから、後追いで価値づける学びへ変えていく。

(カリキュラムのパラダイム変換)

例えば、小学校低年生で広い意味での「生活」を学ぶ中で、他教科の学びが必要になり、その学びを取り上げ学習しつつ価値づけていく。(例：伊那市立伊那小学校) 苫野先生の話は、短時間でもこんなに腹落ちする言葉がありました。

Zoomについては、こんなに機能がよく、衝撃を受けました。

グループに分けられて、小グループ対話もできました。

これが家で簡単にできるから、すごい！

Zoomがあれば、これからの学び方が大きく変わるね。

私は、このイベントを機に、みんなのオンライン職員室に入会しました。この時は、まだビフォー・コロナです。講座の内容について学びが大きいことはもちろんのこと、Zoomを使った学びの手法、Slackを使ったチームのコミュニケーションづくり、Jamboardを使ったオンライン上の共同作業・演習などについても大変学びが大きいものでした。そして、全国の教職員とつながり、フラットに学べるのも大変ありがたいことでした。ある時は、若手の先生の悩みを同じ班になった3人で聞き、12時を越えて語

り合ったこともありました。オンライン上での学びの仲間とこんな対話ができで不思議でした。

現在は、オンラインの学びの場がだいぶ増えました。個人的に、ありがたいと思うことは、オンライン出版記念イベントです。著者と関係者が対話を通して本の紹介をしてくれます。本を選ぶ上でも大変参考になりますし、読んでも深まりがありますし、作者の顔が見えて本を読めると思いが伝わると感じます。もっとも、出版記念イベントに出ると今のところ必ず本を買ってしまっているの、主催者の思い通りになっているかもしれない。

オンラインみんなの職員室

「60分でサクッと学ぶ教育最前線！」 月額 2980 円

<https://minnano.online/>

3 泰子さんへのオンライン読書会参加依頼

実は、泰子さんにお声がけした最初のオンラインの場は、EdCaféではなく、アクティブ・ブック・ダイアログ（読書会）でした。アクティブ・ブック・ダイアログは、休日に教育関係の学びの仲間と、いわゆる、対面で行っていました。しかし、コロナ禍で集まることができなくなり、オンラインで行い始めました。その読書会で、ある回の課題図書が、泰子さんの『『ふつうの子』なんて、どこにもいない』に決まりました。

2020年5月24日（土）14時から Zoomにて

オンライン・アクティブ・ブック・ダイアログ

木村泰子著『『ふつうの子』なんて、どこにもいない』家の光協会

ビフォー・コロナでは、全国を駆け回り、活躍されていた泰子さんでしたが、このコロナ禍で、もしかしたらお時間をいただけるかもしれないと考えました。忙しさの問題だけではなく距離の問題でも、大阪の泰子さんに茨城に来ていただくのは大変なことでした。しかし、そこは、オンラインの大きな利点で、物理的な距離は問題にならず、その時間都合が付くかどうかだけが問題でした。思い切って泰子さんに参加依頼の話をし、参加いただけることになりました。以下が、そのときのメールのやり取りです。

(1) 「マスター→泰子さん」メール 2020年4月14日(火) 23:21

全国的に、いや、世界的に大変なことになっていますね。

木村先生は、お変わりありませんか。

私は、身体は元気ですが、

平常心でできること、笑顔でいることがなかなか大変です。

仲間と対話しながら、元気に頑張りたいと思います。

すべての子供に学習権の保障をすること。

大変ですね。

いろいろなことが、問い直されている感じがします。

私は、今年度も「茨城県教育研修センター」でお世話になっています。

研修計画もめちゃくちゃになってしまいました。

はじめは悔しい思いばかりでしたが、

こんな時でも、いや、こんな時だからこそ、

よき学びの機会にしないでと思っています。

そして、こんな時だからこそ、

「先生方にとって、本当に必要な研修は何だろう。」って考えています。

初任者だから 20 日やっていたとか 15 日やっていたとかではなく、

「本当に必要なことは？」

問い直されています。

これも、貴重な学び。

そして、オンラインをいかにうまく使っていくか。

色々試しています。

ところで、無理を承知で・・・、

オンラインの学びの場に木村先生に顔を出していただいて、

対話に対してアドバイスをいただいたりすることは可能ですか。

可能であれば、ご指導いただけるとありがたいです。

今考えているのは、

オンラインでワークショップ型の読書会をやってみようと思っています。

「「ふつうの子」なんて、どこにもいない」を用いて。

参加者の対話の場面から、木村先生にご参加いただけたら、

うれしいなと思っています。

(2)「泰子さん→マスター」メール 2020 年 4 月 15 日 (水) 8:49

きっと、対応に奮闘されているのだらうなと想像していました。

そんな中で、とてもうれしいメールをいただきました。さすがですね。

今だからこそできることをいかに見つけていくかって考えていました。

「休校をチャンスに」ですよね。

これまでの学校や社会の当たり前を問い直すチャンスが今日の前にあると感じています。

ぜひ、オンラインでの学びに参加させてください。

ふつうの子の本を読んでいただいて、自分事としてどう行動するかの視点で

それぞれの自分の考えを出し合い、対話ができれば、
きっと新たな学びが生まれるはずです。

オンラインに抵抗を持っていた私なのですが、
実は、3 日前にオンラインのミーティングを初体験しました。
私にもやれそうだなって思ったばかりです。
私にできることは何なりと活用してください。
私は学ばせていただけることが何よりありがたいです。

昨日の朝日新聞に元開成中校の校長柳沢幸雄さんの記事が載っていました。
今まさに学校に行く意義を問い直すチャンスだと
まさに櫻井先生のご提案と同じことを書かれていました。

「教えるプロ」を育てる研修から「学びのプロ」を育てる研修へのチェンジですね。
久しぶりにワクワクさせていただきました。
楽しみにしています。

このようなやり取りから、2020 年 4 月 12 日に初めて Zoom でミーティングをした
泰子さんに、2020 年 5 月 24 日のオンライン読書会に参加していただけることになりました。

映画「みんなの学校」が 2015 年 2 月に上映されたのち、泰子さんには、各地から、
様々な学校や教育関係者等から講演会の声がかかっていました。泰子さんは、日程が
合う限り必ず期待に応えようとしておられました。その当時、泰子さんは、『大空小
学校のことを聞きたい』と言われたら、仲間はみんなまだ働いているので、退職して
暇になった私が伝えに行くしかない。私の義務だ。」と。そして、泰子さんは、どこに
行っても、「私が一番学ばせてもらっています。」と言われていました。その後、お目
にかかる機会があり声をかけると、泰子さんは必ず「私が一番学ばせてもらってます
から。」と言われました。

このメールでも「私は学ばせていただけることが何よりありがたい」と。いつもな
がら、ブレない姿を感じさせてくれます。

アクティブ・ブック・ダイアログ（ABD）

以下のプロセスを通して、深く理解し、能動的な気づきや学びを得る読書法。

「1 冊の本を分担して読んでまとめる」、「発表・共有化する」、

「気づきを深める対話をする」

<http://www.abd-abd.com/>

4 泰子さんが登壇するオンラインイベントに参加

5月24日のオンライン読書会を前に「木村泰子先生を Zoom で囲む会をするから参加しないか。」という連絡をいただきました。税所篤快さんからでした。税所は、「月刊教職研修」に「2030年の学校教育をつくる」という連載をしていた方で、この連載を一冊にまとめ、著書「未来の学校のつくりかた」を出版することにしたとのことでした。そして、この本の出版記念イベントだったのです。どうして、出版記念イベントに泰子さんかという、この本の第1章に登場するのが大空小学校、そして、泰子さんだったからです。早速申し込み、イベントに参加しました。この出版記念イベント直後に、泰子さんには、以下のような簡単な感想とお礼を述べました。

2020年5月4日（日）10時から11時30分 Zoomにて
祝！「未来の学校のつくりかた」出版記念 ステイホーム 木村泰子先生を囲む会
第1章で登場するみんなの学校、木村泰子先生を全国の先生方で囲み話します！

（1）「マスター→泰子さん」メール 2020年5月4日（日） 11:38

最高でした。

オンラインでも、安心感や思いが伝わりました。

元気とアイデアをいただきました。

ありがとうございました。

（2）「泰子さん→マスター」メール 2020年5月4日（日） 13:05

ありがとうございました。

見えない人たちとの対話を初体験させていただきました。

皆さんのことは見えないのですが、その分、自分を俯瞰的に見ることができた気がします。

皆さんに感謝です。

5 泰子さんを EdCafé へ招待

2020年コロナ禍のゴールデンウィーク中、私は、この学びの場にかかなりの衝撃を受けました。各学校は、休校が続きいかに学びを止めないか必死で奮闘している状態です。一方で、うまくいかず学びが止まっている学校もあるのも現実でした。私たちと同様の都道府県市の教育センターも、研修の中止や延期が相次ぎ、資料配布や動画の提供等がやっとの状況でした。しかし、このイベントには、短期間に300人以上が申し込み、途中で募集を停止する状況でした。また、オンラインでありながら、十分にそれぞれの心に届く学の間でした。私たちで何かできることはないか、5月4日のお昼に泰子さんにメールをした後、ずっと考えていました。そして、考えたことを伝えるために、5日の夜に改めてメールをしました。

(1)「マスター→泰子さん」メール 2020年5月6日(火) 0:37

4日は、本当にありがとうございました。

あの後、改めていろいろ考えていました。

やっとまとまったので、言葉にします。

4日のオンラインでのイベントに参加して、
率直な感想として。

オンラインで、こんなに心に響くとは、びっくりでした。

私もとってもとっても元気をもらい、背中を押してもらえました。

参加した友達も、涙がこぼれたと言っていました。

勇気をもらったとも言っています。

本当にオンラインでもこんなに心に伝わりました。

そして、こんなにも木村先生の話を知りたいという方が、
大勢いらっしゃって、

あっという間に、人数が集まって、

300人を超えて、

今だからこそ、この時期だから余計に、

木村先生の話を知りたいんだなって。

私も思ったけど、みんなも思ったんだなって。

今、多くの講演会やセミナーなどができず、

木村先生の話を知りたくても、聞けずにいます。

もしよければ、Zoom等のオンラインで

木村先生がお話になれる機会を

配信していただけないでしょうか。

つくばの教職員支援機構(NITS)の動画もいいのですが、

今回のように対話で話が進んだ方が、

より素敵な時間になるなと思います。

より教職員の心に届くと思います。

ぜひ、多くの教職員に届けたいなって。

教職員が元気になることで、子どもたちも元気になれたらなって。

突然の申し出で恐縮ですが、もしよろしければ、

茨城のセンターからでも全国の先生に配信させてください。

(上司に相談しますので。)

もし別の場からそのような機会があれば、そちらから大丈夫です。

私も楽しみに聞きます。

具体的には、複数回、回ごとにテーマを決めて、
数人と Zoom で、テーマについて話していただいたり、
質問に答えていただいたりして。
それをまとめて配信するような感じです。
こんなことができたらいいなって思いました。

すみません。
思いばかりが先行して。
率直にご意見ください。
よろしくお願いします。

(2) 「泰子さん→マスター」メール 2020 年 5 月 6 日 9:52

大賛成です。
ありがとうございます。
初めてのオンラインで、不安からのスタートでしたが
体験してみて、自分自身全く変わらないんだと思いました。
もちろん、みなさんに伝わるのかとの不安はいっぱいですが、
これはいつものことなので同じですね。

櫻井先生が伝えてくださっているように、
オンラインだからつながる魅力もあるなあと感じたところです。

「具体的には、複数回、回ごとにテーマを決めて、
数人と Zoom で、テーマについて話していただいたり、
質問に答えていただいたりして。
それをまとめて配信するような感じです。」

この方法はとてもありがたいと思います。
これまでの講演やセミナーは単発でフォローもできないし、温度差を感じたまま
終わってしまうことが多いです。

例えば「見えない学力」と言うだけでもたっぷり数人の方と対話することで
みなさんの考えが生まれてくると思うのです。

「自分の考え」と言ってもそれぞれの人の捉え方があって、
教えるのか尊重するのかの違いだけでも大きいずれが出てきて、
そのままで理解が止まってしまっていることも多々あります。

従来のセミナーでできなかったことができるような気がします。
複数回と言っていただくだけで安心です。

テーマを決めてその時間はそのテーマに集中して対話できるのはいいですね。
対話の中で生まれる言葉が豊かで本物に近づきます。

ぜひ、存分にプランニングしてください。
自宅に居ながら学べることの利点も私自身ありがたいです。

Wi-Fi が整いマイパソコンがあるだけで Zoom が可能なので何の問題もありません。
もちろん、私への費用は一切発生させないでください。
ボランティアでも何でもなく、私がみなさんと自宅に居ながら学ばせていただける
のですから願ってもないことです。

1 回目が終わるときに 2 回目のテーマが見えてくると思います。
また、飛び込みのテーマがあっても面白いし、
そこは櫻井先生がコーディネートしてください。
すべてお任せです。
なんか・・・大人の「全国道德」って感じですね。

とにかく楽しみです。
子どもの前のさまざまな大人に確実に届いて、何度でも確かめることもできる
ここが魅力ですね。

一つ一つみんなで作っていけば、貴重な〇〇シリーズが生まれそうで
まさに、ワクワクです。

(3) 「マスター→泰子さん」メール 2020 年 5 月 6 日 (水) 18:54
ありがとうございます。
ワクワクしてきました。
もう少し詰めて、改めて連絡させていただきます。

(4) 「マスター→泰子さん」メール 2020 年 5 月 12 日 (火) 16:43
先日は、ワクワクする取り組みについて、
快い返事ありがとうございました。

課長以上が集まる会議で快諾をいただきました。

うちの所長も、映画「みんなの学校」を見て共感していたとのことで企画を喜んでくれました。

良かったです。

まだまだ荒いものですが、企画をまとめたものを添付しました。

とりあえず、1回目の日程を5月下旬で調整してよろしいでしょうか。

こんなにワクワクする企画をできて幸せです。

よいものを作れるように準備して、

皆さんにお届けできる仕組みを作りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

(添付した資料)

「オンライン対話で深める教育談義」の実施について

1 現状

- ・学校では、休業が延長され閉塞感が心配される。
- ・本研修センターでは、実施できない研修や日程を短縮した研修がある。
- ・NITSの研修プログラム開発事業に採択されていて、遠隔研修が行える。

2 目的

- ・先生方に元気を与えたい。
- ・対話の力を感じてもらいたい。
- ・テーマから学んでもらいたい。

3 内容

- ・オンライン会議システム（Zoom または Meet）を用いて、テーマを基にした講師と参加者との対話を収録した動画を作成し配信する。
- ・100名まで会議室に入れるため、Liveで対話を聞く参観者を設けられる。
- ・複数回、回ごとのテーマで実施し、5月中に初回分を配信する。

4 講師

木村 泰子 先生（大阪市立大空小学校初代校長）

5 参加者

5名程度（中堅教諭、指導主事等）

6 参観者

- ・最初の2回程度は、センター職員とする。
- ・3回目あたりからは、募集する。（方法は検討中）

7 テーマ案

- ・目に見えない学力、ふつうの子供、学校の最上位目標、教員の仕事、対話
- ・第1回目については、「みんなの学校を目指した訳」

(5)「泰子さん→マスター」メール 2020年5月12日(火) 19:38

ありがとうございます。

ワクワクプラン、了解していただいてよかったですね。

26日から29日まで、いつでも大丈夫です。

自宅で学べるのは強いですね。

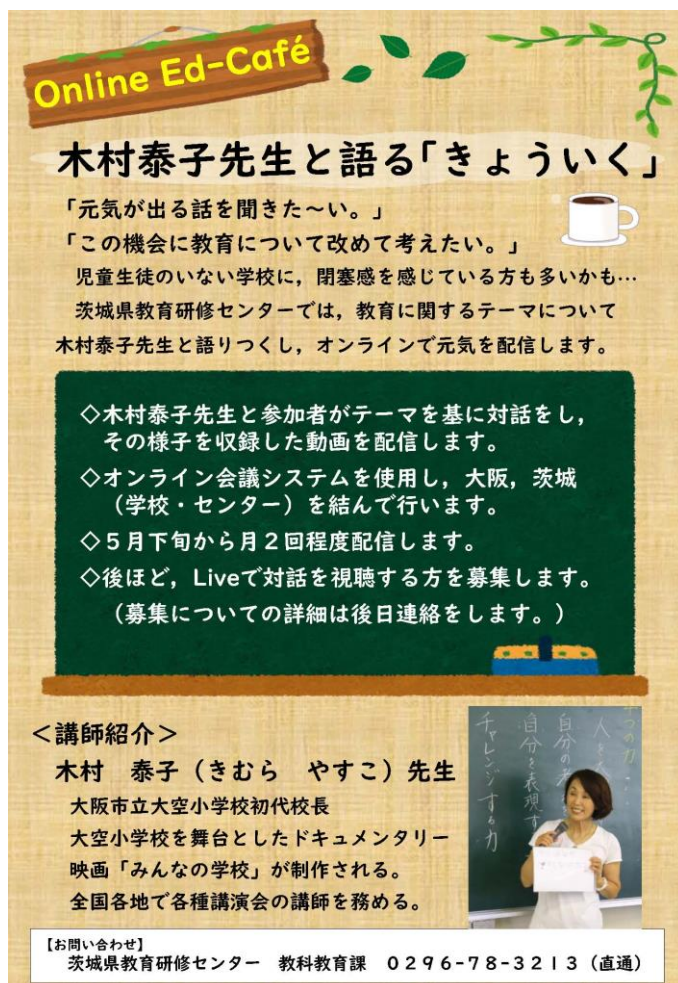
都合のいい日を決めてください。

楽しみにしています。

よろしくお願いします。

泰子さんとは、このようなやり取りがあり、EdCaféをはじめることができました。そして、一緒に働いている茨城県教育研修センターの教科教育課の皆さんをはじめ様々な方々の本当に信じられないくらい迅速な対応があつて、5月6日未明に泰子さんにお話したことが、5月26日には第1回の収録となり、5月28日にYouTube配信をすることができ、ここまで続けることができました。多くの方々に心から感謝しています。

資料1 5月に配布したチラシ



The flyer is titled "Online Ed-Café" in a stylized font at the top left. Below the title, it says "木村泰子先生と語る「きょういく」" (Talking with Ms. Kimura Taiko about "Education"). The text continues: "「元気が出る話を聞きた〜い。」" (I want to hear a story that gives me energy.), "「この機会に教育について改めて考えたい。」" (I want to think about education again this time.), and "児童生徒のいない学校に、閉塞感を感じている方も多いかも…" (Many people may feel a sense of stagnation in schools without children and students...). It then states: "茨城県教育研修センターでは、教育に関するテーマについて木村泰子先生と語りつくし、オンラインで元気を配信します。" (At the Ibaraki Prefecture Education Research Center, we will talk with Ms. Kimura Taiko about education-related themes and distribute energy online.).

Below this, there is a green box containing four bullet points:

- ◇木村泰子先生と参加者がテーマを基に対話をし、その様子を収録した動画を配信します。
- ◇オンライン会議システムを使用し、大阪、茨城（学校・センター）を結んで行います。
- ◇5月下旬から月2回程度配信します。
- ◇後ほど、Liveで対話を視聴する方を募集します。（募集についての詳細は後日連絡をします。）

At the bottom left, there is a section titled "＜講師紹介＞" (Instructor Introduction) for "木村 泰子（きむら やすこ）先生" (Ms. Kimura Taiko). It lists her as the former principal of Osaka Municipal Daikoku Elementary School, mentions that a documentary about her school will be made, and that she will be a speaker at various lecture events nationwide.

On the right side of the flyer, there is a photo of Ms. Kimura Taiko holding a microphone and a piece of paper, standing in front of a chalkboard. The chalkboard has some writing on it, including "自分と表現する力" (Ability to express oneself) and "自分と表現する力" (Ability to express oneself).

At the bottom of the flyer, there is a contact information box: "【お問い合わせ】 茨城県教育研修センター 教科教育課 0296-78-3213（直通）" (For inquiries: Ibaraki Prefecture Education Research Center, Subject Education Section, 0296-78-3213 (Direct)).

6 EdCafé の配信記録（2020 年度）

実際に行った EdCafé の記録を表 1 にまとめました。また、実際の動画は、以下のリンクからご覧になれます。

茨城県教育研修センターHP内 EdCafé のページ

http://www.center.ibk.ed.jp/?page_id=449

YouTube の茨城県教育研修センターチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCEC6_SLeZ0v5ukauHUX.jWBw

表 1 EdCafé 配信記録

回	収録日	テーマ	再生数
第 1 回	5 月 26 日	みんなの学校	4852 回
第 2 回	6 月 3 日	つなぐ・つながる	2428 回
CM	6 月 3 日		475 回
第 3 回	6 月 18 日	学年をこえた子供たちをつなぐ	1557 回
番外編①	6 月 18 日	いま、木村泰子先生が校長先生だったら	795 回
番外編②	6 月 18 日	大空小学校 全校道徳について	880 回
第 4 回	7 月 13 日	対話 ～学校で対話はなぜ必要か～	1408 回
第 5 回	7 月 21 日	対話を生み出すには？	1103 回
第 6 回	8 月 7 日	クラスの中の多様な子どもたち	1320 回
第 7 回	8 月 31 日	学校の役割を問い直そう	1104 回
質疑応答	8 月 31 日	必見！すべての子どもは地域の宝	320 回
振り返り	8 月 31 日	これまで 7 回の振り返り	300 回
第 8 回	9 月 10 日	学校の本質（特別ゲスト：苫野一徳先生）	3196 回
第 9 回	11 月 5 日	全ての子どもの学習権を保障する学校	780 回
質疑応答	11 月 5 日	視聴者からの質疑	490 回
第 10 回	12 月 17 日	学びの本質（特別ゲスト：苫野一徳先生）	2584 回
第 11 回	1 月 28 日	手を伸ばそう！今日の延長上にある未来の学校へ	466 回
第 12 回	2 月 17 日	雑談しよう！未来の学校の本質は？（予定） （特別ゲスト：苫野一徳先生）	

2021 年 2 月 11 日現在

7 参考文献

- ・木村泰子 「「ふつうの子」なんて、どこにもいない」家の光協会 2019 年 7 月 20 日
- ・木村泰子 「「みんなの学校」が教えてくれたこと」小学館 2015 年 9 月 21 日
- ・税所篤快 「未来の学校のつくりかた」教育開発研究所 2020 年 6 月 1 日
- ・苫野一徳 「「学校」をつくり直す」河出新書 2019 年 3 月 20 日